

【例題－警察官B5】

次のア～ウは、それぞれ絶対王政期のイギリス、スペイン、フランスのいずれかの国に関する記述である。記述と国名を正しく組み合わせているのはどれか。

- ア. ハプスブルク家出身の国王が神聖ローマ皇帝も兼任し、広大な領土を支配した。その次の国王は絶対王政の最盛期を築き、レパントの海戦でオスマン帝国の海軍を破り、ポルトガルを併合して、「太陽の沈まぬ国」を実現した。
- イ. バラ戦争の結果、封建貴族が没落して王権が強化され、国教会を創設した国王の下で絶対王政が確立した。その後、無敵艦隊を撃破して国際的地位を高め、また毛織物工業の発展を背景に、積極的に海外進出を図った。
- ウ. ナントの王令（勅令）により新教徒に信仰の自由を認めて国内をまとめた後、中央集権化を進め、官僚機構も整備した。その後、王権神授説を採る「太陽王」と呼ばれた国王の下で、絶対王政の最盛期を迎えた。

| | ア | イ | ウ |
|----|------|------|------|
| 1. | イギリス | スペイン | フランス |
| 2. | スペイン | イギリス | フランス |
| 3. | スペイン | フランス | イギリス |
| 4. | フランス | イギリス | スペイン |
| 5. | フランス | スペイン | イギリス |

(正答) 2